

2019年11月11日

報道関係者各位

株式会社ソラスト

11月11日“介護の日”親子の老後と介護に関する意識調査結果

親の老後に不安を感じる人は8割以上 しかし約3割しか親と「親の介護」を語っていない

“介護の日”をきっかけに、「1年に一度はご家族で会話する時間を大切に！」
いざという時のために、老後の過ごし方や介護サービスの情報収集を。

介護、医療事務、保育サービスを提供する株式会社ソラスト（本社：東京都港区／代表取締役社長：藤河 芳一）は、厚生労働省が定めた「介護の日」（11月11日）にあわせて、全国の20代～50代男女500名を対象に「親子の老後と介護に関する意識調査」を実施いたしました。



▼ 調査結果サマリー

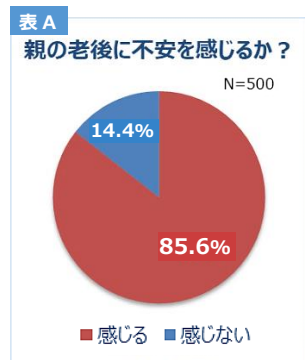
1. 親の老後に不安を感じる人は**8割以上 (85.6%)**
きっかけは「親が年老いた」(72.2%)
2. 親子で「親の介護」について話した経験のある人は**3割弱 (28.8%)**
3. 自分の老後に向けて準備している人はわずか**2割 (21.4%)**
4. 自分の老後に向けて、約**4割は「貯金していない」(39.2%)**
最も多い貯金額帯は「100万～300万円未満」(12.4%)

■ 早いうちから親御様の老後や介護について、親子で会話し、向き合う時間を。

- 調査の結果、なんと8割以上(85.6%)の方が「親の老後に不安を感じている」という事実が明らかになりました【表A】。一方で、「親の介護」について親子で話したことのある方はわずか3割弱(28.8%)にとどまり、7割以上の方は「話した経験がない」という事実が明らかになりました。

- 介護は決して特別なことではなく、とても身近な生活の一部です。今日11月11日は厚生労働省が定めた「介護の日」*1。社会全体で介護について考える日です。歳を重ねると誰もが老後を迎え、介護を必要とするときが訪れる可能性があります。親御様に面と向かって話すことに抵抗を感じるかもしれませんが、会話の数を増やすことで不安は少しずつ解消されるはず。日頃から親子で今後の老後や介護を受けるかもしれない将来について、元気なうちから会話する時間をつくってみたいはいかがでしょうか。お互いが悔いの残らない生活を送るためにも、今回の調査結果が、ご家族での会話のきっかけになれば幸いです。

< 調査結果の詳細は、次ページ以降をご覧ください >





親子の老後と介護に関する意識調査

調査結果

- ・ 調査期間：2019年10月3日（木）～10月4日（金）
- ・ 対象：全国の20代～50代男女500名
- ・ 調査方法：インターネット調査
- ・ 調査会社：株式会社ネオマーケティング

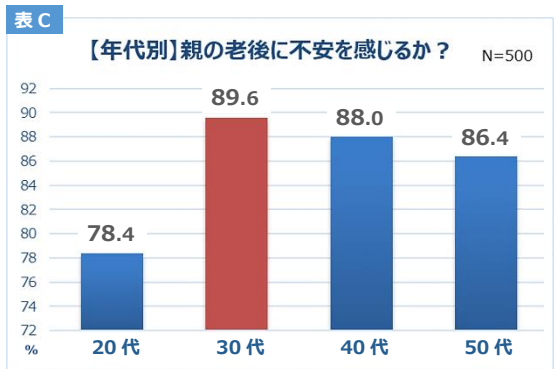
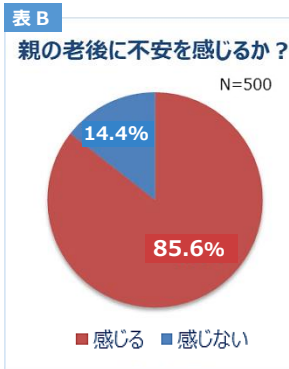
より多くの方に介護や老後についてご家族や周りの方と話し、考え、向き合う機会を持っていただきたいという思いから、今回老後・介護に対する意識などを調査しました

調査結果 1

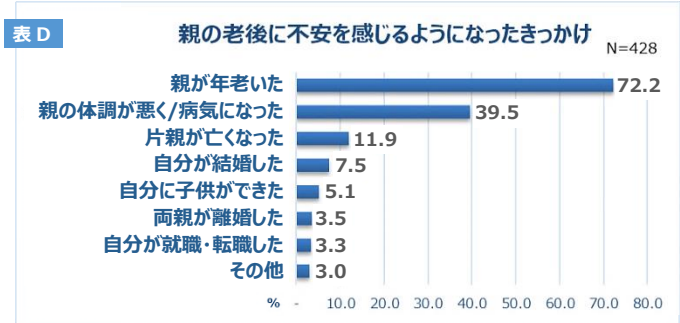
親の老後に不安を感じる人は8割以上（85.6%）きっかけは「親が年老いた」（72.2%）

▶ 親御様の老後に不安を感じるか、調査しました。

- ・ 8割以上の方が「不安を感じる」（85.6%）と回答。年代別では、特に30代が最も多い結果となりました【表B・C】。



- ・ 不安を感じるようになったきっかけで最も多かったのは「親が年老いた」（72.2%）、次いで「親の体調が悪くなった・病気になった」（39.5%）【表D】。高齢になられた親御様の姿や、実際に親御様が体の不調・病気を経験されたことで、不安を感じ始めた方が多いようです。

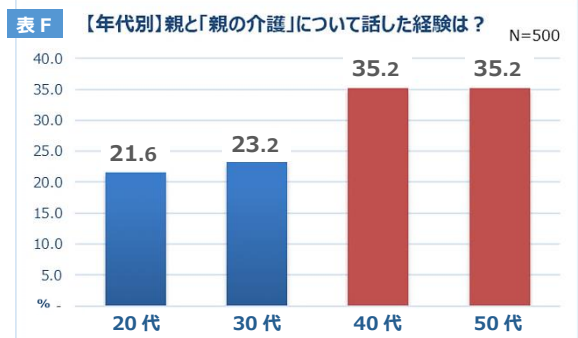
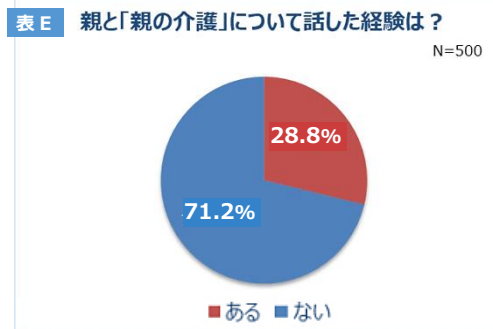


調査結果 2

親子で「親の介護」について話した経験のある人は3割弱（28.8%）

▶ 多くの方が親御様の老後に漠然とした不安を抱く一方、実際に親子で「親の介護」について話したことがある方はどのくらいいるのか、調査しました。

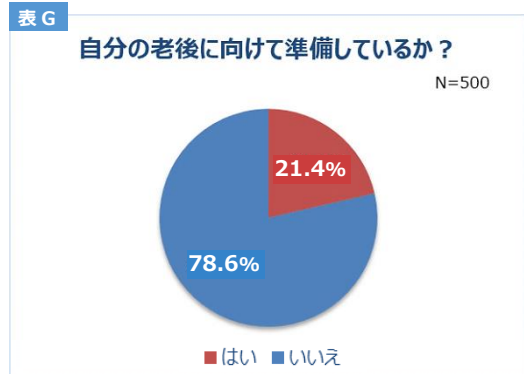
- ・ 親子で「親の介護」について話した経験のある方は3割弱（28.8%）。7割以上の方は「話した経験がない」という事実が明らかになりました【表E】。年代別で見ると、20～30代よりも、40～50代のほうが話した経験のある方は多い結果になりました【表F】。
- ・ 若い世代ほど、親御様に面と向かって介護を受けるかもしれない将来のことを話すことに対して、抵抗を感じる方が多いのでしょうか。あるいは、少々真面目な話題なので、なんとなく話すタイミングを見失っている方もいるのかもしれません。



調査結果 3
自分の老後に向けて準備している人はわずか 2 割 (21.4%)

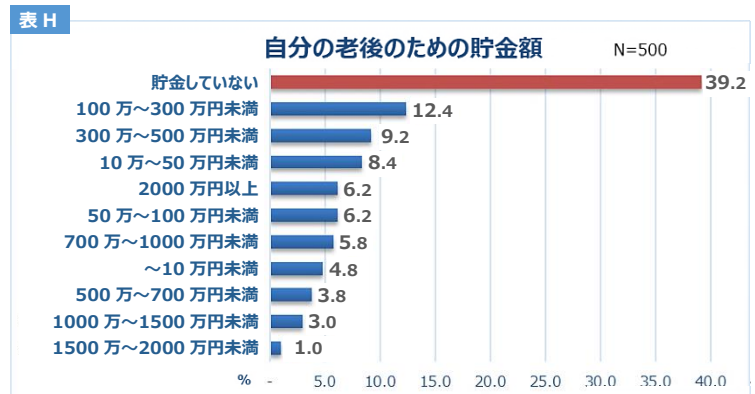
▶ 親子の会話のほか、自分の老後に向けてどのくらいの方が実際に準備しているか、調査しました。

- 自分の老後に向けて「準備をしている」方はわずか 2 割程度 (21.4%)【表 G】。約 8 割の方は老後に向けて「準備をしていない」という事実が明らかに。
- 「準備をしている」約 2 割の方に、具体的にどのような準備をしているのかについて聞いてみると、「個人年金」(32 歳・男性、26 歳・女性ほか)、「投資信託」(23 歳・男性、59 歳・男性ほか) など、貯蓄に関する回答が多い結果となりました。


調査結果 4
自分の老後に向けて、約 4 割は「貯金していない」(39.2%)
最も多い貯金額帯は「100 万～300 万円未満」(12.4%)

▶ 自分の老後に向けて貯蓄している金額について、調査しました。

- 「老後のための貯金をしていない」方が約 4 割 (39.2%)【表 H】。意外にも年代間での差はなく、20 代～50 代のどの年代でも、約 4 割が「貯金をしていない」と回答。
- 最も多い貯金額帯は「100 万～300 万円未満」(12.4%)、次いで「300 万～500 万円未満」(9.2%)。中には「1,500 万～2,000 万円未満」(1.0%)という回答も見られ、老後に必要な資金として説かれている 2,000 万円を視野に入れている方もいることがうかがえます。



*1 【介護の日】：厚生労働省が定めた、介護について理解と認識を深め、介護従事者、介護サービス利用者及び介護家族を支援するとともに、利用者、家族、介護従事者、それらを取り巻く地域社会における支え合いや交流を促進する観点から、高齢者や障害者等に対する介護に関し、国民への啓発を重点的に実施するための日。

■株式会社ソラストについて ▶ 企業サイト <https://www.solasto.co.jp/>

東京、名古屋、大阪を中心に全国約 440 の事業所を運営する「介護サービス」や全国の医療機関から医療事務を受託する「医療関連受託サービス」、認可保育所を中心とした「保育サービス」、そして「教育サービス」を展開しています。2018 年度の売上高(連結)は 842 億円、営業利益は 50 億円。2030 年までに、売上高 3,000 億円、営業利益 200 億円を目指しています。

— 報道関係者のお問い合わせ先 —

株式会社ソラスト 財務経理・コーポレートコミュニケーション本部 広報課

[TEL] 03-3450-2724 (直通) [Email] koho@solasto.co.jp